

エスペラントは心の国境を消すことばです

Organo de Hokkajda Esperanto-Ligo

Heroldo de HEL

N-ro 164

Marto 2016

HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

北海道エスペラント連盟

[Enhavo/目次]

- ・表紙、Enhavo/目次 P. 1
- ・エスペランティスト、サハリンへ行く！ P. 2
- ・ **Japanaj esperantistoj vizitos Saĥalenon.**
- ・ Sinprezentoj de novaj aliĝintoj(Liganoj) / P. 5
新入会員（連盟員）の自己紹介
- ・ tio と ĝi(ili) の 違いは？/HOŝIDA Acuŝi P. 6
- ・ 80 jarojn post la martiriĝo de kontraŭmilita P. 7
batalantino AIZAŬA Rjoo(AIZAWA Ryô)
- ・ Mi partoprenis en Novjara Renkontiĝo 2015-2016 en Germanio P.10
/MIZUKAMI Sae/エスペラント合宿に参加しました/水上さえ
- ・ 星田さんへの『人民の敵』のインタビュー記事について(2)/ P.12
Intervjuo de HEL-eksprezidanto HOŝIDA Acuŝi en la gazeto
"Ĵinmin no teki"(2)/横山裕之
- ・ Danke ricevitaĵ (星田淳扱い読みたい方はご連絡ください) P.16
- ・ Protokolo de la 2-a Komitata Kunsido de HEL/Kasjaro 2016/ P.18
2016年度 第2回北海道エスペラント連盟委員会 議事録
- ・ 2015.10.17~18 第79回北海道エスペラント大会 会計報告 P.20
- ・ [編集後記/Redaktanto parolas]

エスペランチスト、サハリンへ行く。

Japanaj esperantistoj vizitos Saĥalenon.

北海道エスペランチスト合同エスペラント交流宣伝サ

ハリン旅団

主催/北大エスペラント研究会

後援/北海道エスペラント連盟・北海道自由エスペラン

ト協会

1923 年夏、その前年に妹トシを亡くした宮沢賢治は、花巻から北海道を經由してサハリンへの旅をおこなった。この旅こそ、のちに不朽の名作『銀河鉄道の夜』へと昇華したと言われている。賢治はエスペラント語を学習することになり、エスペラントの影響を作品群に残したが、エスペラント文学としての作品になる前に早逝した。

われわれ北海道の老壮青のエスペランチストは、賢治の旅行から 100 年を前にして決意した。隣人サハリン住民との交流をこれから行っていく、

それもサハリンの共通語ロシア語でもなく、北海道の共通語日本語でもない平易で公平な言語エスペラントを使って。まず我々はサハリンのエスペランチストとの交流をはかり、サハリン住民へのエスペラントの宣伝行い両島の住民の交流の第一歩とする。

サハリン島には先住民族ロシア人、朝鮮人、中国人などが居住し、多民族社会を形成している。先住民族との共生をめざす北海道のエスペランチストにとっても、歴史的にも、無視できない地域である。にもかかわらず、両島の民衆同士の交流は政治に翻弄され、言語の壁もあいまって、杳として進んでいないのが実情である。

今回の訪問はわれわれのサハリン最初の訪問であり、全てにおいて計画通りとは限らない。暗中模索ともいえる中で集団行動を基本としながら、なおかつ一人一人の柔軟な判断がもとめられる。図書館などの訪問とともに可能であれば賢治の訪問最北地ストロドゥブスコエ海岸で琥珀の粒の採集もしたい。琥珀はカンパをくれた人びとへの謝礼となる。

こうして北海道を中心とするエスペランチスト 10 人程が「北海道エスペランチスト合同エスペラント交流宣伝サハリン旅団」(略称：サハリン旅団)を組織し、8月の10日から17日までサハリンを訪問することにした。

参加第一次締め切り：4月8日(金)

一年以上有効な旅券、参加費、ビザ取得に必要な写真・書類

参加費：北海道内エスペランチスト：6万円

北海道内高校生・学生エスペランチスト：2万円

道外エスペランチスト：9万円(キャンセル料：傷病・災害の場合には参加費、それ以外は参加費+6万円) ※実は一人あたり渡航費だけで18万円かかります。一人参加すればそれだけカンパが必要になります。カンパをお願いします。

カンパ振込先：北洋銀行 麻生支店 3187479 ミヤザワ ナオト

質問・提案は：サハリン旅団事務局長：宮沢直人

TEL 011-717-4189

Naoto_5esperanto@yahoo.co.jp

Sinprezentoj de novaj aliĝintoj(Liganoj)

新入会員（連盟員）の自己紹介

*S-ro Kakuchi Nobuharu(覚知頌春)

>Saluton, liganoj.

Mia nomo estas Kakuchi Nobuharu. Mi ĉeestis la kunsidon en januaro kaj tiam mi aliĝis al HEL. Mi nun estas unuajara studento en la magistra kurso de Universitato Hokkajdo. Mi studas la ĝermanan lingvaron, precipe la malaltgermanan (ankaŭ nomata la platgermana), kiu estas dialektaro parolata en nordgermanio. La germana estas lingvo abunda je dialektoj, ĉiu dialekto diferencas de ĉiu najbara dialekto, kaj ju pli grandiĝas la distance inter du dialektoj, des pli granda estas la malsameco. Ili varias ĉefe fonologie aŭ morfologie sed kelkfoje ankaŭ sintakse. Mia nuna tasko estas la klarigo de la sintaksaj karakterizaĵoj en la malaltgermana.

>En junio de 2014, mi aliĝis al la Esperanto-Rondo de la Hokkajda Universitato (EHU), kaj ekde ĝi mi lernas Esperanton tie. Esperanto portis multe da interesaĵoj al mi. Mi partoprenis en multe da interesaj eventoj kaj renkontis multe da interesaj homoj. Homoj kiuj parolas aŭ lernas Esperanton estas ofte iel malnormalaj. Tio plaĉas al mi, ĉar mi ŝatas malnormalecon pli ol normalecon(Mi estis surprizita kiam mi unufoje vizitis la domon de iu Esperantisto en Asabu).

>Mi nun estas la rondestro de EHU, kiu estis rekonstruita en 2013. Ni kuniĝas unufoje semajne kaj lernas Esperanton. Kelkfoje ni kontaktas kun studentoj kiuj lernas Esperanton en aliaj universitatoj. La lastajn somerferiojn mi kaj mia posteulo vizitis la Esperanto-Societon de la Universitato de Kioto kaj ĉi tiun marton miaj du posteuloj vizitis ĝin. Ĝi cetere eldonis sian bultenon

lastatempe. La bulteno estas belega. Nun ni intencas eldoni nian novan bultenon kiel ĝi. Ĉiukaze, bedaŭrinde nia rondo ĝis hodiaŭ rilatis al HEL tre malmulte.

Mi esperas, ke EHU faros ion kune kun HEL pli.

*KATOO Tomohiko (加藤智彦)

Saluton! Mia nomo estas KATOO Tomohiko. Mi studas lingvistikon en la Universitato de Hokkaido. Mi ŝatas lerni fremdajn lingvojn, kaj eklernis Esperanton, ĉar min interesas artefarita lingvo. Lernante la lingvon fakte, mi sentas ĝin funkcia kaj bela. Mi ankaŭ trovis, ke oni povas amikiĝi per Esperanto kun interesaj homoj en- kaj eksterlandaj. Mi volas lerni Esperanton pli multe, kaj deziras koni diversajn homojn. Antaŭdankon pro via helpo.

tio と ĝi(ili) の 違いは？

HOSIDA Acuŝi

どちらも辞書を見ると「それ」と書いてあることがあり、
どう違うんだ？

となると説明や例文で確かめることになります。

原則的には：

ĝi, ili は 前の文に出たもの (-o, -oj で終わる名詞) を指し、

tio は 前の文で表現されている出来事 (事がら) 全体を指すことが多い。

新入会員の自己紹介文に1か所 Tio がありますね。これは何を表しているか、確かめてください。

80 jarojn post la martiriĝo de kontraŭmilita batalantino AIZAŬA Rjoo(AIZAWA Ryô)

獲得した真理は主観でゆがめる事は出来ない

2月10日(水曜日) 北海道新聞 2016.2.10 第3版(北海道版)

相沢良の生涯とその時代

1910年 (明治43年)	青森県南津軽郡野村(現野村町)に医師の次女として生まれる
14年 (大正3年)	大連事件、日露併合
23年	第1次世界大戦勃発
27年 (昭和2年)	関東大震災
28年	兵衛法公布
28年	全国に特別高等警察(特高)を設置
30年	第四女子医学専門学校(現東北大学)に進学、日本共産党青年同盟に参加する
30年	大連を中退。構内の紡績工場で大衆を組織する
31年	警察に1万月拘束された後、青森の美術へ。地下活動とみなされ、憲兵隊に拘束される。神戸代を脱し、札幌へ
32年	札幌で労組結成の準備会を開催
33年	道警に拘捕され、美唄署で拷問による取り調べを受ける
34年	治安維持法違反などの罪で札幌刑務所から脱走。4年の判決を受け、刑務所脱走後、二番目同刑所となり、服役
35年	肺の重い病状にかかり、獄中から「真理は主観でゆがめる事は出来ない」と手紙を送る
36年 (昭和11年)	重病のまま出獄。父母と馬そりで青森の美家へ、1週間後に死去する



相沢良

戦前の女性活動家 相沢良 没後80年

反戦・反貧困 貫いた生涯

戦前の札幌で治安維持法の厳しい弾圧の下で働いた平和運動に命をさげた女性活動家相沢良(1910～36年)。プロレタリア作家小林多喜二と同世代に生まれ、今年没後80年を迎えながらその存在は札幌市民にもあまり知られていない。安全屋福屋運送が3月に発行され、戦争参加に違を聞く可能性が懸念される中、戦争に反対し、反貧困を掲げて闘った相沢の生涯をたどった。(竹中健哉)

雪をかぶった木々の間から陽光が降り注ぎ、川のせせらぎだけが流れる。パウースガットの秘境とされる札幌市西区の平和の郷。手稲山(1923年)の登山口には、相沢良の記念碑という一塚がある。「地元でも相沢良さんのことを知る人はほとんどありません。近頃は佳節になるとまきさんでは語る。平和の郷は、相沢が女性労働者たちとハイキングに訪れ、語り合い労働歌を歌ったあかりの郷だ。治安維持法違反で国家賠償を求め、北道連発(札幌)が28年、真吉の産婦科医専門学校(札幌)に進学すると、学生運動に加わり、日本共産党青年同盟の中心的存在に。メーデーへの参加や、

が1930年代半ばに隣や稼を建て、會の員28日に結婚を願っている。「なまなまき付いて立ち寄る登山客がけこういるんだとまよふ横山さんは言う。

相沢は東京府豊島郡野沢村(現豊島区)に医師の娘として生まれた。23年(大正12年)に慶応女学校に入り、2年上の姉玉代の足跡をたどる。翌年、撃手の救急隊のりまきへとも知り合った。16歳で実際に運送としてつづられたエスプラント社の競争を始め、次第に社会主義思想に傾倒した。

社会主義に傾倒／札幌で労組結成に奔走／拷問受け服役、死去

反戦エスペランチスト相沢良の没後80年、札幌市平和の滝の記念碑前で命日に開かれた慰霊祭の記事は翌1月29日の道新に出た。2月10日の記事はもっとくわしくエスペラントについても触れている。

著書『戦後』を著して手紙を勝手に開封する問題に抗議したことなどから30年に懲年処分となり、そのまは半禁錮受刑した。労働市場に動く労働組合の分業を組織。警察に約力目問拘束された。その後妻の急死で地下活動に入る。31年12月特別懲罰警察(特高)の捜査から逃れるために嫁入り娘に装束して青函連絡船に乗り、嫁を騙って札幌に移り住んだ。

「日本が中国との全面戦争に陥る時代にこの国を救済するために奮起する」と国民ファーストを掲げる会派表の小島豊さん(88)は語る。

相沢は、労働運動がほろろ環境状態だった札幌で労組結成に向けて奔走。彼等に「祝賀の看板を掲げ、女性労働

運動を求めた。『化粧をせずに白襟けをした女性はクダモノと呼ばれ、懲罰を食いた』(小島さん)。

道産主義戦争に反対する共産党の『25年17セ』を脱意など命かけて活動に取り組みだ。

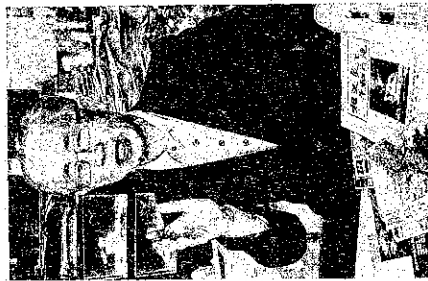
特高に捕獲されたのは38年4月。木刀で打たれるなど拷問を受け、翌39年に札幌裁判所から懲罰4年の判決を受けた。服役中に肺の腫れが激しくかかつて寝病し、36年1月に仮出所するが、その1週間後妻の急死で意を引き取つた。

獄中から新聞に宛てた手紙に次の一節がある。くひかなる苦しみにあつたことも、獲得した尊厳は主観的ゆめめる事は出来ないので。初心を貫いたわが55年の人生だった。

講士が「転向」を勧め、執行猶予付きの有罪判決を拒む流れがありましたが、それでも相沢は断固として拒否し、劣悪な獄中生活を耐えまわりました。

われわれは、あの時代に反戦平和と労働者の権利を訴えるために、そこまで闘った女性がいた歴史をもっと知るべきです。特定秘密保護法や安部保衛法が成立し、敵前回帰が懸念される今こそ、女性の訴えに、いま一度、耳を傾ける必要があると思います。

「女性活動家が多く数だった時代に相沢良さんは不届の気持ちで闘いました」と話す宮田さん



札幌市西区の平和の滝にひっそりとたたずむ相沢良の記念碑とレリーフ像。登山道から立ち寄っていく

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟北海道本部

宮田汎会長に聞く

不屈の信念 足跡大きく

相沢良の慰霊祭を平和の滝(札幌市西区)で開いている「治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟北海道本部」会長の宮田汎さん(78)に、その活動と後世に残した功績について聞いた。

相沢が札幌で活動したのはわずか1年半足らず。しかし、治安維持法の弾圧の下、労働運動や農民運動が環境状態にあった札幌に大きな足跡を残しました。

労働組合は通岸、職場の中で立ち上げますが、外からの働きかけ

で実現しようとしていました。和裁教室やハイキングをするなどの女性労働者の気持ちをつかむのが巧みだったとされます。相沢が拘束された後に賃上げ要求を行った工場もあり、行動の意欲がありました。

当時、治安維持法の裁判では弁

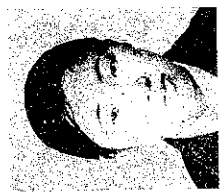
2016.1.29 道
第3種郵便物認可

治安維持法下で命かけ活動 相沢良 没後80年

反戦の遺志継承を

札幌で慰霊祭 「過ち繰り返さぬ」

戦前の札幌で労働・平和運動に身を投じ、拷問の末に25歳の若さで亡くなった女性活動家相沢良（1910〜36年）の没後80年の命日に当たる28日、札幌市西区の平和の滝人口前、慰霊祭が開かれた。治安維持法下の弾圧に屈せず、反戦平和に命をさげた相沢。参列者たちはその非業の死を悼み、「今こそ彼女の遺志を継いでいかなければ」と決意を新たにした。



相沢良



反戦平和の思いを込め、相沢の記念碑前で献花する参列者たち

相沢は青森県陸奥津軽郡野沢村（現青森市）生まれ。労働運動や小作争議が活発な時代に育ち、10代後半から社会主義思想に傾倒した。1938年（昭和3年）、東京の帝国女子医学専門学校

校（現東邦大）に進学し、日本共産青年同盟の中心的存在に。退学処分後に勤めた紡績工場で労働組合分会を組織する中で、警察に約1カ月間拘束されることもあった。

札幌には32年、特高の捜査から逃れるため、姉を頼って移住。労働運動がほぼ壊滅状態だった札幌で、労働者の待遇改善や反戦を訴え、労組結成に向けて奔走した。しかし、警察の拷問

エスペラント合宿に参加しました

フェアビジョン編集局 水上さえ

みなさん、エスペラント語ってご存知ですか？

120年ほど前に世界共通語をめざして作られた言語です。私自身、話す人もそんなに多くはないこの言葉をやる人は物好きだな～と思っていた(のに！)ひょんなことからエスペラント語に魅せられてしまい、年末年始の休みにベルリンとアウシュビッツを見に行こうと思ってとったドイツ行きの航空券で逆方向の南部の小さな町へ向かい、エスペラント合宿に参加してしまいました。今回はその報告を書きます。

・ザールブリュッケンへ

ドイツでは、エスペラント発祥の地ポーランドよりもエスペラント語が盛らしく、年末年始、1週間近い長さで行われる合宿がドイツ国内で3か所もあるとのこと。

12月27日、今公開中の「顔のないヒトラーたち」の舞台となったフランクフルトからバスで数時間ゆられ、住民投票でフランスからドイツになったという国境近くのザールブリュッケンという小さな町に着きます(地球の歩き方には1ページだけ載っていました)。

合宿主催者のルーさんに挨拶をしてから、周囲をみると、いきなり10歳くらいの小さな男の子から「こんにちは～」と言われびっくり。すぐ後ろにその子のお父さんが座っていて流暢な日本で声をかけてくださり、お話をうかがうと妻が日本人で数年前まで日本に住んでいたとのこと。まさかここで日本語を話せる人に会えるとは…。この方・トニーさんから、「言葉に詰まったら日本語で話すほうがかえって伝わっていいかもしれないよ」と、この合宿に参加する人たちは英語で話すのを好まないことを教えていただきました。

その言葉のとおり、このあと出会う方たちは、みなさん、ドイツはもちろん、フランス、ベルギー、フィンランド、ポーランドなどなど、様々な国から来ていて、みなさん実は英語も流暢なのにも関わらず、私がつたない英語で話しかけてもがんとしてエスペラント語で返ってきます。とにかく辞書をひきひき、エスペラント語で話すしかなく、この言語をあえてやっている方たちの心意気を感じました。

でも、とても親切で、私がほとんどしゃべれないのを知ると、なんでこの合宿に？と内心思っていたと思いますが、みなさん単語や文法を説明してくれたり、エスペラント語

を学べるホームページ等を教えてくださいました。

・合宿について

一週間にもわたる合宿に何十人も参加者がいることにも驚きましたが、家族での参加者が多く(父と子で参加している人も結構いて、中には3人の小さな息子さんを連れ、妻にはメールで毎日報告している、という方もいました)、下は0歳児の赤ちゃんから、上は90歳代のおじいさんまで幅ひろくてロビーはいつもにぎやか。90歳代のおじいさんはエスペランティストの息子さんと参加していて、セミナーもひとつ受け持ち、息子さんに通訳してもらいながら自分が訪問した世界各地の環境保全活動について明晰に話していました。今からエスペラント語をはじめでどこまでできるか試してみようと思っているそうで、バリバリ食べて、めちゃくちゃ元気で刺激を受けました。

合宿は、様々な年齢や語学レベルでも参加できるように、ビギナーコースから、参加者自らが様々なテーマでスピーチをするセミナー、編み物やヨガのクラス、歌を歌ったりする小さい赤ちゃんがいる方のためのクラスなど、多様なコースが準備されています。

私はすすめられて初日はビギナーコースに参加したのですが、出てくる絵をエスペラント語であてたりする子供向けの内容にうんざりして、翌日からほとんどわからないにも関わらず上級者向けのセミナーに参加しました。

・セミナーの内容

エスペラント合宿のセミナーのテーマは社会的なものではないかと思っていたのですが、実際は「3D プリンターについて」、とか、「天文学」とか、

「世界のエスペランティストと出会う旅報告」などなど、一般的なトピックス。旅報告では、アフリカや南米から来たエスペランティストとの交流も報告されています。その中にイスラエルで開催されたエスペラント交流大会で、元外務



セミナーの様子(子供受けアニメ)

大臣と笑顔で並んでいる写真があつてギョ！もしかして
エスペランチストはシオニストの集まりなのではないかと、
一抹の不安を感じました。終わってから通訳してもらつて
スピーチした方にそのことを聞くと、エスペランチスト全般
としては特にそういうことはないけど、イスラエル人はエス
ペランチストかどうかにかかわらず基本的にシオニストが
多い、ということでした。パレスチナが今もイスラエルに弾
圧されていることは、知らないか、あまり関心がないよう
でした。地理的に遠いからではないか、とトニーさんは言っ
ていました。

・シリア難民のご夫婦と出会う

その翌日、食事中にシリアからの難民のご夫婦を紹介
されました。合宿参加者のおひとりがこのご家族を支援
していて、今回セミナーで話してもらつたためにお二人を合
宿にお招きしたとのこと。難民問題でイスラム教徒が排
撃されていると聞いていましたが、こうやって助ける人た
ちもいるんだと知ってホッとします。

どうしてシリアがそこまで弾圧されなくちゃいけないの
かご夫妻に質問すると、「わからない。ヨーロッパも、アメ
リカも、中国も、インドも、みんなこの状況を後押しして
いる。」とのこと。もちろん対米従属の日本も同様に違いな
い、と思いました。



避難避難するシリア難民たち
(セミナーで紹介された写真)

翌日お二人のト
ークセミナーがあり
ました。首都ダマス
カス近くの5万人の
小さな町で家族5人
平穏に暮らしていた
のに、モスクをはじ
め、町のインフラを

破壊され、住民のほとんどが難民になったそうです。お
二人は1年3か月前、エジプトのアレクサンドリアから、小
さな船に130人、5日間ボートにゆられ、最終的にドイツ
に逃げできた、とのことでした。でも言葉もままならず、仕
事を見つけるのは大変なのだそうです。これほどの難民
を大勢生み出して、いったいシリアを弾圧している国々

は何がしたいのでしょうか。

・エンターテイメントな最終夜

エスペラント合宿もいよいよ明日で終わる、という夜に
最後の集会があり、日本によくありがちな、一人一人感
想言ったりする会なのかな〜と思いきや、「ザッツ エン
ターテイメント！」という感じで、子どもから大人まで、ジャ
グリングやピアノ、歌、踊りなどなど、合宿参加者の特技
が次々と披露されていきます。そしてテレビ番組顔負け
のハイレベルなトークショーやサイエンスクイズ対戦コー
ナーに大盛り上がり。司会もトークも、お医者さんだつたり、
様々な職業の合宿参加者がしているのですが、相当
の芸達者で、湿っぽくない、楽しい最終日となりました。

・エスペラントの意義

エスペラント語は、多言語同士で話すと、どうしても母
国語を使う側が優位になってしまうという不公平を無くす
ため、すべての人にとっての第二言語で話すことができ
れば、対等なコミュニケーションができるようになる、と、
帝政ロシア時代に植民地であったポーランドで生まれ、
その中で最も弾圧されたユダヤ人であった歯科医ザメン
ホフが世界平和を願って作ったものだそうです(実は、こ
の理念に感動して、合宿に参加したのでした。“英語帝
国主義”にも対抗できるよいアイデアだと感心しまし
た)。

エスペランチストは、少ないといっても、中国やインド、
ネパール、アフリカ、南米などなど、世界中にいるそうで
す。少ないながら様々な国でエスペランチストたちと出会
え、エスペラント語で話せることは、やはりとても素敵な事
だと思いました。行く先々の言葉をすべて流暢に話すよ
うになるのは無理ですし、人が一生で出会う人数などそ
う多くはないですから、世界的に見て話す人が少なくても
自分が出会う範囲では問題はないように思えます。

シオニズムとの関係を警戒しつつも、すっかりエスペラ
ントにはまった私は、エスペラントの歴史や日本のエス
ペランチストについて学ぶ講座を企画中です。決まりました
ら、フェアビジョンにてお知らせしますので、ご興味持た
れた方、ぜひ、ご参加ください。

筆者紹介：水上さえ さん

さっぽろ自由学校「遊」で講座の計画などにかかわっておいででしが
エスペラントに関心があつて昨年の北海道大会に参加、Sino Yoshie
Kleemann に紹介されたドイツでの年末合宿に参加しました。

帰国後「遊」でエスペラントの講座を、と提案されましたが、後期
(今年10月以後)の計画での実現が期待されます。(La red.)

星田さんへの『人民の敵』のインタビュー記事について(2)
Intervjuo de HEL-eksprezidanto HOŠIDA Acuŝi en la gazeto
"Jinmin no teki" (2)

横山裕之

Daŭrigo : 前号より続く

M 苫小牧でのエスペラント運動はスムーズにやれましたか？

星田 スムーズにいった時期もあった。80年代半ばあたりまではスムーズだったように思える。その後はやはり新しい人がだんだん少なくなってきたというか、それは札幌でもやはり同様であるように見受けられるけどね。

外山 それまではそれなりに新陳代謝が？

星田 70年代のうちはあったと思う。80年代に入ったあたりから、日本の社会状況がどうも変わってなど感ずるね。

外山 苫小牧での活動とは別に、札幌のエスペラント運動にもある程度は関わってるんでしょ？

星田 札幌エスペラント会が「かでの2・7道民活動センター」という建物で活動していたが、ココ(M邸)にもよく集まった。ココが北海道エスペラント連盟の事務所だった時期もあるし。

外山 それはだいぶ後の時期ですよ？

星田 いつ頃だっただろう。

M 90年代後半の一時期ですね。

外山 札幌の運動はやっぱり50年代とかから続いているんですか？

M もっと前からえる。

星田 札幌は明治大正の時代から始まっているよ。

外山 もちろん星田さんも札幌の人たちとは……。

星田 それはもちろん最初から連絡をとってる。

M ぼくが星田さんに初めて会ったのは、支笏湖かどっかでの合宿だったかな？

星田 ああ、そういうことがあった気がする。

M 72、73年頃、まだ全共闘運動の香りが残ってる頃ですよ。

星田 場所はどこだった？

M ナントカ荘ってところで……。

星田 北大の合宿所もあのあたりにあった。

M そこではないです。73、74年かな、ぼくは札幌北高エスペラント同好会というのを作ろうとして、女の子を3人ぐらい誘ってた時期がある。その時にみんな合宿に参加していて、たぶんその時に星田さんにも会ってるはず。

外山 へー、高校生の時なんだ。

星田 支笏湖の翠明閣というところかな。

M あ、それっぽい。

外山 高校時代からエスペラントに関心があったんですね。

M たぶん本田勝一の影響だと思う。当時ぼくは民青だったから、「反米愛国、だったでしょ。何で英語を勉強しなきゃいけないのかって、実は英語の成績が悪かったからそう思ったんだけどさ(笑)。それでちょこっとエスペラントをやった覚えがある。

外山 本格的にやるのはもっと後ですよ？

M うん、だいぶ後。「ほっけの会」が終わってからだね。「ほっけの会」の後半の時期からやり始めて……。

外山 「ほっけの会」は車の運転とエスペラントが「必修、だったと聞いてるし。

M あと銃を撃つこと(笑)。

外山 海外で訓練してましたよね(笑)。

M 苦小牧エスペラント会には、最初の頃は苦小牧工業なんかからも来てたんじゃないですか？

星田 学校にポスターを貼りに行ってたし、それなりに反応はあった。会社での例の争議が一段落して、またエスペラントの活動を再開した時だから、60年代だね。65年には東京で世界エスペラント大会があったし、そのあたりにある種のピークがあったのかな。70年代の半ば以降は、上昇ということがない。

外山 “苦小牧工業、”というのは高校ですか？

M 高専。

星田 いや、高専とは別に元々は「苦小牧工業学校」というのがあって、それが今では苦小牧工業高校になってる。

外山 で、そこの生徒が……。

星田 来ておった時期もあります。しかし70年代に入ってから学生はもうあまり来なくなっただね。

外山 その工業高校では、生徒が自主的にエスペラントを始めたんですか？ それとも誰か熱心な先生がいたとか……。

星田 歴史的には昭和の初年度あたりから工業学校にエスペラントの集まりがあって、かなり活動的だったんですよ。もちろんそれは昔の話で、我々の頃には、散発的に何人か来るような時期もあるという程度。今から思えば、誰かいい先生を捕まえるべきだったな(笑)。

M 苦小牧工業には学生運動はあったんですか？

星田 ほとんど聞いてないが……出身者に1人、作家がいたね。道新(北海道新聞)に勤めていて、小説を書くようになったという人がいたでしょ。小樽山博だ。

M 知らないですね。

星田 JR北海道の急行に乗ると、JR北海道の広報誌が置いてあるでしょ。あれに毎回エッセイを書いているよ。あとは“9条の会、”やなんかにちょいちょい出てきて何かモノを云ってる。工業高校時代は貧乏学生で、夜は近所の畑を荒らしてジャガイモを盗ってきて食べたとか(笑)。

外山 その人もエスペラントをやってたんですか？

星田 いや、エスペラントとは関係なく、ただ工業高校がらみで思い出したというだけ。

M 苦小牧のエスペラント会のメンバーは、まず王子製紙の社員、それから市役所の職員もいましたよね。

外山 王子製紙の社員というのは、まず労組で活動を開始した時からずっと残ってる人たちですか？

星田 友人として残ってくれたんでしょう。ただその人たちも最近ではだんだんとあの世へ行く人が多くてね(笑)。人が減っていく一方で、何か新しい人が入ってきてくれるようなことを考えなければならんと思っはいるんだが……。

M 若いのを騙すのは任しといてください(笑)。……横山さんはどういう人でしたっけ？

星田 彼は道の職員で、環境管理関係の職種だな。苦小牧に赴任している時にひょこっと現れて、それ以後ずっと続いている。それから柴田病院の柴田先生の家族がいるが、それはやっぱり彼が学生時代からやっておったからね。

外山 星田さんが誘ってエスペラントを始める人以外に、そうやって学生時代とかにどこか別のところでやっていた人が苦小牧に来て、連絡があるということも……。

星田 時にはあったけど、長く続いた人はあまりいないかな。最近だと在日韓国人が1人いる。エスペラントをやっておったというのは前々から少し聞いてはいて、それで最近はずめんホフ祭などでは彼がやってる韓国料理店を使ってたら、それ以外の集まりにもひょこっと来てくれるようになってきた。40~50代で、そんなに若い人というわけでもないけど。

外山 さっきチラッと、日本で世界エスペラント大会をやったという……。

星田 65年東京が最初ですね。

外山 あ、その後もやってるんですか？

M 横浜でやってる。

星田 数年前のこと。07年、横浜。日本でやったのはその2回だ。しかしその間に北京では2回やってるし(86年、04年)、ソウルでもやっけて(94年)、日本でももう少し開催されてもいいはずなんだが……。

外山 戦後の日本でエスペラント運動が量的に一番拡大していたのは、やっぱり 60 年代ですか？

星田 そうですね。東京で世界大会をやった後、5 年か 10 年ぐらいの間。

M それは大会の効果もあったんでしょうけど、2 回目の横浜大会ではそういう効果はなかったんじゃないですか？

星田 うん、なかった。

M 2020 年の東京オリンピックを占うよ。2 匹目のドジョウは絶対いないんだ (笑)。

小川 横浜で 07 年におこなわれてたんだ。

外山 エスペラントのことを少しは知ってるばかりですら、そんなことは知らなかったもんなあ (笑)。

星田 その時はたしかに世界中から来てくれたし、国内からの参加もかなり多かったけど、それによってエスペラント学習者が増えるという効果は見えなかった。

M ぼくは 07 年は本当は夕張で開催すべきだったと思います (笑)。負債で破綻した過疎の町に世界中からエスペランチストがやってきて夕張市民を励ますというのは、まず「いい話」になるでしょ。実際に町じゅうがエスペランチストだらけになるし、ただマウントレースイ (スキー場) のホテルにどのくらいのキャパがあるかだな。3 千人ぐらいのキャパは必要なんだ。

星田 北海道大会には充分だけど。

M 民宿で充分ですよ (笑)。

星田 日本大会も大丈夫だろう。

外山 最近では日本大会にはどれぐらいの参加者があるんですか？

星田 多い年で千人ちょっとだろうか。

M 5 百から千ですね。……夕張に 1 人もエスペランチストがいないことがネックだな。現地に 1 人でもいればやることは可能なんだ。

星田 夕張と云えば、苫小牧にいたあるエスペランチストを思い出す。さっきから話してる争議の関係ですね。当時は支援の組合が各地から来て、とくに炭労からの支援が多かった。夕張からもかなりいろんな人が来てくれた。思い出す人というのは……朝鮮生まれで、大阪にいた時代にはおそらく共産党員で、演劇関係の活動をしていたという写真も見せられたことがある。苫小牧に来た時点ではクリスチャンで、そういう変わった経歴の人だった。苫小牧では朝日友好協会でも活動して、といっても彼自身は南の方の生まれだけど、朝日親善の催しにもよく出ておった。我々の争議についても知ってるというし、経歴からして関心があったんだろうね。で、夕張の閉山の時に、閉山反対ということで夕張の労働者を激励に行きませんかと彼が提案してきたんだ。ちょっと唐突な感じがしたけど、彼が云うには、かつて道内各地で労働争議が起きた時には夕張の炭労が必ず支援をしてくれていたのに、その夕張で炭坑も労働組合もなくなってしまう時にこっちから何も挨拶しないのはいかがなものか、と。そこは私も同感だったけど結局は行かなかったな (笑)。その後、彼は「苫小牧のクリスチャンとは結局話が通じませんでした」というようなことを云って自殺してしまった。

外山 いつ頃ですか？

星田 86 年 5 月 19 日でした。だいぶ古い話ではあるね。苫小牧の海岸で、焼身自殺だった。苫小牧のエスペラントの会にはずっと来ておったが……。

M エスペランチストにはどうも思い詰めるタイプの人が多いような気がする。いろんなタイプがエスペラント界限に出入りする中で、真面目で地味な方々が残って運動の主流を形成していつてる。

星田 “真面目で地味、とは対極のような人もいるけどね。富山県の出身で、富山で日本大会があった時には参加しているというので写真を見たらたしかに写ってるんだ。彼は相当の家柄の私生児というか、妾の子だからで、やがて富山には居にくくなって、“富山の菓売り”の資格も持っていたし、あちこちに商売に出るようになったらしい。北海道では同和会の仕事をしていると云ってたね。同和関係の団体はいくつもあるけど、保守系の団体で総理府ともつながっていて (「全日本同和会」は自民党系の同和団体だったが、86 年以降は同会から分裂した「自由同和会」が“自民党系の同和団体”となっている)、貧しい人に融資する時に審査をする仕事だとかいうことだった。経歴を聞いてみると、ある時は共産党、ある時は創価学会、どうも正体のよく分からないところがあったが、自分の権利やなんかを主張する時には極めて理路整然と詰め寄ってくるので、うっかりしたことは云えないなど時に感じさせられもした (笑)。まあ、だらしないうところもあって、糖尿病だと云われておるにも関わらず、

入院してる病院に菓子を持ち込んで隠れて食っておったりして、これはダメだと思って「少し運動をしろ」と山菜採りに連れ出したりもしてたね。一時期は一緒に自転車で苫小牧と支笏湖を往復したりして、だいぶ症状も良くなっていったんだが、しばらくするとまたダメになって、入院先でやっぱり隠れて菓子を食べたりしてたようだ。最後は室蘭に移ったけど、そこで死んだ。そういう、共産党だの創価学会だのクリスチャンだのと、変わった人間がなぜ苫小牧に集まっておったのか、理由はよく分からんけれども(笑)。

M じゃあ星田さんから見て「エスペ란チストの一般的な像」というのは特にない感じですか？
星田 それはやっぱり、さっき云われたような「真面目で一筋、なタイプがかなりの割合を占めていると思う。ところが一方でそれに当てはまらないような者も一定いて、それでウチの「山の神」も、「あなたのところには変な人ばかり集まってくる」と云っていて、おそらくその中の1人としてM氏も数えられている(笑)。

外山 97、98年に、ちょうどココが北海道エスペラント連盟の中心になってた時期の北海道大会にばくも来たけど、アメリカ人が2人いて、両極端だなあと思いましたよ。1人はすごく真面目な理想主義者で、「世界中の人々が1つの言語を共有すればもっと相互理解が深まって戦争もなくなる、的なことを熱く語るような人だったけど、もう1人は、単にアメリカのパワーについて行けないダメな感じのアメリカ人だった(笑)。

星田 そんな人がいた？

M いましたよ。彼はたぶん鬱病だったと思う。名前を忘れちゃったが、痩せたアメリカ人。その時にちょうどミコ・スローパーもいて、これが彼とは対極的な「明るいアメリカ人、なんだ。もう1人の「暗いほう、は、たまたまぼくが拾ったんですよ。いきなり電話がかかってきて、お金もないし住むところもないと云うんで、ウチにしばらく住まわせて、大会にも誘った。

星田 じゃあ当時の参加者名簿を見れば載ってるのかな。

M 載ってるでしょう。ミコ・スローパーが参加した年です。もうほんとに、ダメチンだったんですよ(笑)。

星田 まあともかく、苫小牧には変な人が時々まぎれ込んできた。

M 全国でそういうふうに云われてるんじゃないですか？ 「ウチのサークルにはどうして変な人ばかり寄ってくるんだらう、って(笑)。

星田 苫小牧にはもう1人、あれはマトモなほうだと思うが、郷土史研究の本を何冊か出している人がいた。樺太の生まれ育ちで、そこを時に訪ねたりする関係でロシア側ともつながりを持っていたね。北海道大会を苫小牧でやった時に、松浦武二郎(1818~88、幕末から明治期にかけて蝦夷地を探検し、「北海道」それ自体をはじめ北海道のさまざまな地名を定めた)について講演してもらってる。年は私よりひと月ばかり上だったが、一昨年あたり心臓で亡くなった。40~50年前にエスペラントを熱心にやっておったようで、しかしその後は転向してあまりやらなくなって、まあ会えば挨拶ぐらいはエスペラントでスラスラ云ってはいけど。

M 短い期間だけ一所懸命やるという人は多いですよ。その一方で、惰性で続けているというか、エスペラントが「世界語、になるとは思わないけど、「乗りかかった船」だから続けています、というような人も多いでしょう？

星田 それはかなりいると思う。もっとも、エスペラントを「世界語」にする、とはエスペラント側でも云ってはおらんよ。「共通語」として使用できるように、とは云うけど……中国語では「エスペラント」は「世界語」という名前だね。

外山 星田さんは就職で苫小牧に移ってきて以降は、ずっと苫小牧から動かないんですか？

星田 そうですね。あちこちに活動を手伝いには行ったが、千歳なんかも中里先生が亡くなってからはあまり行く機会もない。

外山 エスペラントがそれなりに「運動」として存在するのは、北海道では札幌と苫小牧だけですか？

星田 「会」があるのはその2ヶ所だけ。小樽にもあるけど、やってる人はもうかなり高齢だし、名前が残ってるだけで実質的には動いてない。

—— Daūrigota(次号につづく) ——

Danke ricevitaj (星田淳扱い、読みたい方はご連絡ください)

* Novaĵoj Tamtamas; n-ro 311/ januaro 2016, Internacia Gazeto de Esperanto jokohama(Hama-Rondo)A4X8 頁、エスペラント文。この号は写真、カット 17 点入りのカラー印刷。”Liono, ĝemela urbo de Jokohamo/ThierryThailhades”は姉妹都市リヨンの人による解説。101a Legokunsido では “kredu min, sinjorino!” について 3 人の文。ほか神奈川ザメンホフ祭、エロシエンコ生誕 125 年記念「エロシエンコを偲ぶ会」の報告など。

* Ponteto(Bulteno de Esperanto-Ligo en Regiono Kantoo) Januaro 2016, n-ro 274: B5x16 頁のうち E.文 5 頁弱。”RUZFONO FU-RIOZAS EN ĈINIO/SASAKI Teru-Hiko” は中国でのスマホ中毒(依存)症の蔓延について。“Mia Esperanta Vivo/Glauco Pompilio”は連載 4 回目。連載はあと二つ。「酔いどれ文法再確認/仁木茂」が 4 回目、「スリランカでの南アジア・エスペラントセミナー/ほりやすお」が 2 回目。

* La Tamtamo; 第 483 号、2016 年 1 月号、NPO 法人エスペラントよこはま会報。A4X8 頁、日本文。「新年あいさつ/代表理事:柴山純一」、「NPO 法人エスペラントよこはま第 2 回総会にご参加を」、行事予定、予告。第 101 回読書会報告は “Kredu min, sinjorino!” について。「講習会だより」に出てくる教材は “Hispana, Kataluna, Mangada...”, ZAMENHO-FA LEGOLIBRO, Vizaĝoj, La Zamenhof-Strato.

* La Movado:関西エスペラント連盟 (KLEG) 発行、N-ro780, februaro 2015, B5x16 頁のうち E.文 4 頁強。巻頭記事は「第 64 回関西エスペラント大会(6 月)は泉北ニュータウンで

/寺島俊穂]。「ジャンボリーを機に思うこと/堀田裕彦」は昨年夏の世界スカウトジャンボリーにエスペラントブースを出した経緯について。”Kial Mi Legas Du Hamletojn de Ŝekspiro?/NAKAGAWA Tokio”は芦屋 E 会の機関誌より。今年シエークスピア没後 400 年。

* 受講生通信; 第 164 号、2016-2-01, 沼津エスペラント会、B5X14 頁のうちエスペラント文 2 頁は受講生や講座修了者からの便り。

* Meĵstono 2016 januaro, n-ro 253, 仙台エスペラント会、B5X16 頁のうち E 文 3 頁は Novjara mesaĝo /GOTOO Hitosi と La ĝenerala Kunveno kaj Zamenhofa Festo de SES/Imaizumi Hisanori.

この(2016)年度総会記録は日本語文が詳細に 7 ページ続く。

* NOVA VOJO :N-ro 525 februaro 2016, EPA(エスペラント普及会)、A5X34 頁のうち E.文 9 頁。「ちよつと小路へ」は Mi mangas supon, 第 101 回世界エスペラント大会(2)/(H.H). 連載中の大本物語 (Esp/日・対訳)は香川の三好鋭郎さんのインタビュー。

* Novaĵoj Tamtamas; n-ro 312/ februaro 2016, Internacia Gazeto de Esperanto jokohama(Hama-Rondo)A4X4 頁、エスペラント文。前半 2 頁は姉妹都市オデッサ(ウクライナ)の Tamara Popova さんの 100-a UK(Lillo)参加記。Opinio 欄 /KOYAMA Takesi は “La 8-a de Decembro”(太平洋戦争開戦の日)と “Kiun opinion vi aprobas?”(戦後 70 年にあたって戦争と平和、憲法についての日本国天皇と首相の態度の違いについて)

* 受講生通信; 第 164 号、2016-2-

01,沼津エスペラント会、B5X14 頁のうちエスペラント文 2 頁強。「掲示板」に八が岳エスペラント館利用料改訂。10 連泊 11,500 円、20 連泊 21,500 円。

* La Tamtamo; 第 484 号、2016 年 2 月号、NPO 法人エスペラントよこはま会報。A4X12 頁、日本文。笠井満喜子さん(仙台の三瓶圭子さんの妹)の追悼文が 2 頁。「NPO 法人エスペラントよこはま第 2 回総会(1 月)報告」

* La Movado:関西エスペラント連盟(KLEG)発行、N-ro781,marco 2016, B5x20 頁のうち E.文 4 頁強。

巻頭記事は Skize pri nia Esperanto-Movado en 2015/Simatani Takesi. 「バンコクでのエスペラント普及活動/Kampo 田中一喜」は、世界的な観光地だけに来訪する外国の E-istoj をうまく使った活動の報告。楽譜は浦島太郎(Uraŝima-Taroo/Trad:Simatani Takesi). Mikspoto に伊東三郎についての記事紹介(治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟の機関誌より)。

* Eskalo:川崎エスペラント会(ESKa)発行、2016.3..2, No.160、B5X8 頁のうちエスペラント(E)文は Mi gxuis la Japanan Kongreson/Tomoko Isida(第 102 回日本 E 大会報告)と「Esperanto-Sumoo(相撲)の勧め」など計 1 頁強。トップ記事は「第 34 回東アジア青年 E 合宿(34KS,釜山)」。川崎 E 会 2016 年総会報告、「E 教育の意義と可能性/北川郁子」

* La Informilo de Nagoja Esperanto-Centro/センター通信 280, 5 marto,. 2016:名古屋エスペラントセンター発行、B5X10 頁のうち E 文 2 頁。2016 年名古屋エスペラントセンター総会のご案内、訃報 2 件(Nakahira Takuma, 柘植已知彦)、「読書会“Ni legu”報告/伊藤俊彦」、La Novaĵo de Japanio など。

* NOVA VOJO :N-ro 526 marto 2016, EPA(エスペラント普及会)、A5 X32 頁のうち E.文 8 頁。「越年 E 研修会感想文/Impresoj de trans-Jara kurskunveno 2015-16」は 12 月 30 日から 1 月 2 日まで亀岡で国内国外(韓国、モンゴル、ネパール)からの 78 人の参加者の感想文。

* Novaĵoj Tamtamas; n-ro 313/marco 2016, Internacia Gazeto de Esperanto jokohama(Hama-Rondo)A4X4 頁、エスペラント文。巻頭文 Eroŝenko en Jokohamo 1916, ---/Sibayama zyun'iti は 100 年前の横浜でのエロシエンコ、鳥居篤次郎たちのこと。“La lasta broŝuro pri la viktimoj pro falo de ĉas-jeto de la usona armeo/Doi Ĉieko” は 1977 年 9 月、3 人の犠牲者を出した横浜の米軍機墜落事故と その後の物語。

* La Tamtamo; 第 485 号、2016 年 3 月号、NPO 法人エスペラントよこはま会報。A4X12 頁、日本文。巻頭に「遠足案内→久保記念観光文化会館へ行きませんか？」続いて予定、報告、講習会だより、Ricevitaj Organoj など。

Protokolo de la 2-a Komitato Kunsido de HEL/Kasjaro 2016 2016年度 第2回北海道エスペラント連盟委員会 議事録

日時：2016年1月24日（日） 13:14～15:

場所：札幌エルプラザ2階会議コーナー（18人用）。

出席者：横山裕之、後藤（義）、後藤（純）、阿部、星田（記録）

傍聴者：Marcelo Yuji Himoro, 覚知頌春、加藤智彦

欠席者：山下、川合

[組織]

- ・新規加入者：覚知頌春、加藤智彦
- ・上記新規加入者から加入挨拶があった。
- ・退会者：なし。
- ・未納者：機関誌に振込用紙同封。

[財政]

- ・前大会の会計報告はHeroldo次号に出す。（阿部）

[広報]

- ・HP：アクセス数73563件（2ヶ月前より+324）
- ・メールマガジン：10月9日の第168号以後発行なし。発行数は四百部程度にとどまっている（横山）。

[情報・宣伝]

- ・マスコミ掲載はなかった。

[教育・研究]

- ・北大：週1回日曜日16:30から勉強会。参加者6名。
Ivan la malsaĝulo を読んでいる。グループの名称は北海道大学エスペラント研究会：Esperanto-Rondo de Hokkajda Universitato, 略称は E.H.U(北大エス研)とする。
- ・SES：月曜例会（『Flugorango Rakontas』）は月2回13～16時。
土曜例会では『Homoj de Putin』月4回。（後藤（義））。

・TES:『Kredu min, Sinjorino!』が続いている。(星田)。

【機関誌】

・1月24日、「Heroldo de HEL」第163号(20頁)、90部印刷・発行(星田)。

・次号は次回委員会時発行。

【年間計画】

【北海道大会】

<第80回(次回)大会>

・日程:日本大会の翌週では両方に参加する人にとって大変だからと翌々週すなわち2016年10月22日(土)・23日(日)とした。したがって日本大会に来た外国人に講演を頼むのは無理、今回は22日連盟総会、23日一般向け講演会:講師 S-ro 堀泰雄(東北大震災関連)となる。

【初夏合宿】

・いつもの柴田内科循環器科病院研修所(札幌市西区西野)の借用可能時期を病院に問い合わせる(星田)。

・近年は6月に実施している。次回委員会で北大生から合宿について要望を出してもらおう。

・効果的な一般向けPRの方法を考えよう。

<サハリン旅団>

・現在のところサハリン側から具体的反応はない。Nebeljsk(日本名:本斗)生まれの E-isto, S-ro Molčanov がユジノサハリンスクにいることだけがわかっている(星田)。

*追記: S-ro Molčanov からはその後連絡があった(星田)

・旅券及び国外運転免許証を準備する(横山)

・サハリン旅行団の申し込み締め切りは4月で、その後まとめてビザを取得予定

【次回委員会】

・2016年3月20日(日)13時より。場所は札幌エルプラザ2階会議コーナー(18人用)。

同日10時より機関誌の印刷を行う。

(以上)

2015. 10. 17~18 第79回北海道エスペラント大会 会計報告

収入

¥10,000

¥1,000×10人 参加費

支出 (前年度支出済 ¥9,900を除く)

¥91,868

¥3,080 機材使用料

¥1,230 市民向チラシ作成

¥1,610 議案書作成

¥578 お茶

以下ゲスト ¥9,000 バンケード(3人)

¥30,000 謝礼(2人・1人)

¥45,000 旅費・宿泊(アレクサンドラ)

¥1,370 タクシー、昼食

*クレーマーさんご夫妻は、日本大会から札幌へ自費観光なので旅費・宿泊費の必要なし
 前年度支出済は、部屋代(17日午後・夜、18日午前・午後)
 (土曜日午後は、あらかじめ札幌エスペラント会が学習会で予約し、高齢者多数なので無料)
 ※第80回大会は、10月22日、23日開催
 日本大会から2週間後なので、外国人ゲストは招致しない。
 両日とも午後のみ開催(部屋借用は23日午後のみなので、3,100円~今年度支出済)

[編集後記/Redaktanto parolas]

*しばらくマスコミに出なかったが、2月の道新に相沢良の没後80年関連の記事が2件出ました。重複部分は一部除きました。今札幌でエスペラントに関する記念物は この平和の滝の記念碑だけです。
 *前号から続く長文の寄稿(人民の敵)は さらに次号へ続きます。

北海道エスペラント連盟 会費/年
 正会員 3000円、青年会員(26歳未満) 1500円、
 購読会員 2000円、家族会員、失業者など割引 1000円

HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

*Redaktas la Organa Fako de HEL

c'e HOSIDA Acus'i

Miyanomori 2-18-18, TOMAKOMAI

053-0844 JAPANIO

TEL-FAKS: 0144-74-2539

Retadreso: hosidaacusii@kir.biglobe.ne.jp

*Sekretario: KAWAI Yuka

N-ro 100, Simin-Katudo-Sapoto-Senta

Sapporo L-Plaza 2F, Kita 8 Nisi 3

Kita-ku, Sapporo, 060-0808 Japanio

TEL-FAKS: 0126-35-7153

Retadreo: kunespere@olive.plala.or.jp

*TTT-ejo : <http://www.hokkajda-esp-ligo.jp/jp/index/index-j.htm>

*Pos'tg'irkonto (郵便振替) : 02700-6-17075

北海道エスペラント連盟

*編集: 連盟機関誌部

〒053-0844 苫小牧市

宮の森町2丁目18-18

星田 淳 方

*事務局: 川合由香

〒060-0808 札幌市北区

北8条西3丁目札幌エルプラザ

市民活動サポートセンター レターケースNo.100